マーブルネット設定マニュアル

パソコンの設定方法
(ネットワーク設定・メール設定)

山陰ケーブルビジョン株式会社

2010年3月第8版

インターネットに接続できないときは

まず状況の確認をしてください。

・インターネット（Ｗｅｂの閲覧）もメールもできない

ｐ６４を参照してください。

・インターネットはできるがメールができない

メールの送受信ができない
メールの送信はできるが受信ができない
メールの受信はできるが送信ができない

ｐ６６を参照してください。

・メールはできるがインターネットができない

ｐ６７を参照してください。

お問い合わせ先

■お電話でのお問い合わせ
マーブルネットカスタマーサポートセンター
（０８５２）５９－２５２５　受付時間　平日９：００～１８：００
上記以外の時間はメッセージで夜間の電話番号をご案内します。
そちらにお電話いただきますとマーブルから折り返しお電話いたします。
（受付は２４時間ですが、障害内容によっては対応が後日になる場合があります）

■メールでのお問い合わせ
support@mable.ne.jp（２４時間受付）

マーブルのメールアドレス以外でお問い合わせいただく場合は、
●お名前
●ご住所
●マーブルにお届けいただいているご自宅のお電話番号
を明記の上お問い合わせください。

■ＦＡＸでのお問い合わせ
（０８５２）２４－９１１１（２４時間受付）

お問い合わせの際にはご連絡先をご記入くださいませ。
ご返答については日時が掛かる場合があります。

目次

１．マーブルネットの利用にあたって ---------- ｐ　２

１－１．マーブルネットを利用するためには
１－２．設定について

２．ネットワーク設定 ---------- ｐ　３
２－１．ＷｉｎｄｏｗｓＸＰ ---------- ｐ　５

ＩＰアドレスが違う場合は ---------- ｐ１２

２－２．ＷｉｎｄｏｗｓＶｉｓｔａ ---------- ｐ１３
２－３．Ｗｉｎｄｏｗｓ７ ---------- ｐ１７
２－４．Ｗｉｎｄｏｗｓ２０００ ---------- ｐ２３
２－５．ＭａｃＯＳ　Ｘ ---------- ｐ２９
２－６．その他（ルーター[無線ＬＡＮ]、ゲーム機、ネット対応家電等） -------- ｐ３１

３．電子メールソフトの設定 ---------- ｐ３３

３－１．電子メール ---------- ｐ３４
３－１－１．マーブルネットの電子メールサービスについて
３－１－２．メールソフトの設定

３－２．メールソフト設定の前に ---------- ｐ３５
３－２－１．注意点
３－２－２．スタートメニューの電子メールソフトの変更方法 ---------- ｐ３６
３－２－３．Windows XP
３－２－４．Windows Vista ---------- ｐ３９
３－３．Outlook Express(Windows 2000/XP) ---------- ｐ４１
３－４．Ｗｉｎｄｏｗｓメール(Windows Vista) ---------- ｐ４５
３－５．Windows Live **メール**(Windows7/Vista/XP) ---------- ｐ５１

ウィルス対策ソフトについて ---------- ｐ５６

３－６．Ｍａｉｌ（Ｍａｃ　ＯＳ　Ｘ） ---------- ｐ５７

４．困ったときは ---------- ｐ６３

４－１．インターネットもメールもできない。（インターネットに接続できない） ｐ６４
ルーター（無線ＬＡＮ）をご利用の場合 ---------- ｐ６５
４－２．インターネットはできるがメールができない ---------- ｐ６６
４－３．メールはできるがインターネットができない。 ---------- ｐ６７

１．マーブルネットの利用にあたって

１－１．マーブルネットを利用するためには

マーブルネットを利用するためには接続設定を行う必要があります。
マーブルネットではパソコン等機器の配線およびネットワーク設定を、お客様で行っていただきます。
設定方法が判らない場合は購入されたショップ、弊社からご案内しておりますサポート認定者等にご相談ください。

１－２．設定について

主要なパソコン（ＯＳ）の接続設定については本書の該当項目をご覧ください。
当マニュアルに記載してないパソコン機器等については弊社ホームページをご覧いただくか、弊社サポートもしくは機器の購入店、各メーカーまでお問い合わせください。
（機種によってはサポートできない場合があります）

注
- ルーター（無線ＬＡＮ）を使用する場合はルーターの取扱説明書をご参照ください。
- 固定グローバルＩＰアドレス（オプションサービスになります）の設定方法は弊社ホームページでご確認ください。
- Ｗｅｂページアップロードのための ＦＴＰソフトの設定については弊社ホームページでご確認ください。

2. ネットワーク設定

弊社が設置したケーブルモデムに接続する機器はネットワークの設定を行う必要があります。

このマニュアルでは次のものについて設定に関する説明をします。

・Ｗｉｎｄｏｗｓ　７
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００
・ＭａｃＯＳ　Ｘ (10.4)

・その他（ネットワーク対応ゲーム機他）

注　Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８／Ｍｅ等の古いＯＳや一部の機器についてはサポートできない場合があります。

2－1
WindowsXP
接続設定方法

WindowsXP のパソコンはその多くが
本体にＬＡＮボードを内蔵しています。

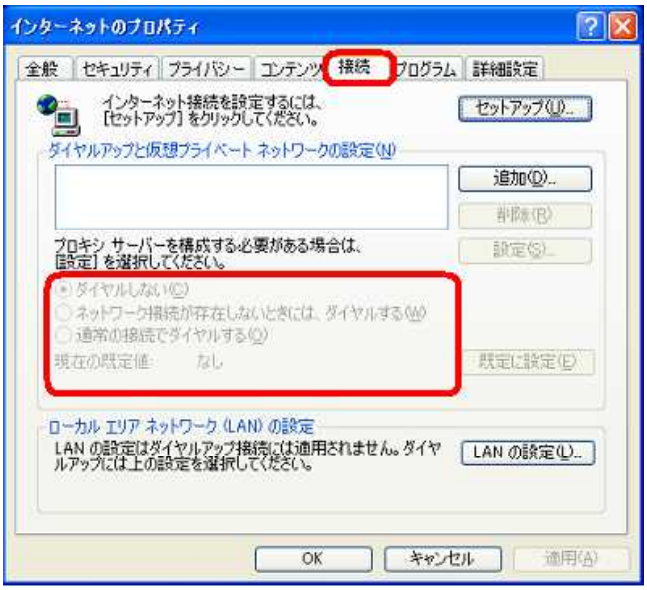
通常は「パソコンのＬＡＮケーブルの差し込み口」と「ケーブルモデムのＬＡＮケーブルの差し込み口」をＬＡＮケーブルで繋げるだけで接続が完了します。

注）**ルーター・無線ＬＡＮをご利用の場合はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。**

2－1－1. インターネットオプションの設定確認及び修正

まず、ネットワークの設定を確認し、ダイヤルアップになっている場合はこれを修正します。

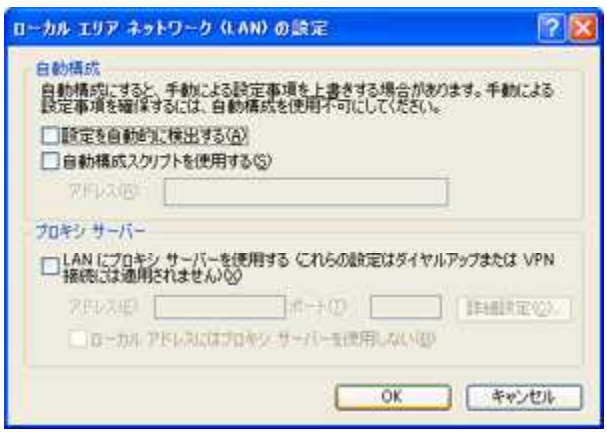
1. スタートメニューの設定→コントロールパネル→インターネットオプションの順に開きます。「インターネットのプロパティ」が表示されますので、「接続」タブをクリックします。



2.「通常の接続でダイヤルする（O）」にチェックが入っていない事、もしくは、図のように文字が薄くなっていることを確認します。

3.「通常の接続でダイヤルする（O）」にチェックが入っている場合、「ダイヤルしない（C）」にチェックをします。

4.「LANの設定」のボタンを押します。



５．チェックが付いている項目があればチェックを外します。

６．ＯＫのボタンを押します。

７．「インターネットのプロパティ」に戻りますのでＯＫをクリックします。

2－1－2. Windows XPのネットワーク確認

次にローカルエリア接続が有効になっているかを確認します。

1. 以下のa. b. c. いずれかの方法で「ローカルエリア接続」を右クリックし、出てきたサブメニューの中からプロパティを選択します。

a. スタートメニューからマイネットワークのところでマウスの右クリックをします。
出てきたサブメニューの中から「プロパティ(R)」を選びます。

b. デスクトップ上のマイネットワークのところでマウスの右クリックをします。
出てきたサブメニューの中から「プロパティ(R)」を選びます。

c. スタートメニューからコントロールパネル(C)を開きます。

ネットワーク接続をクリックします(クラシック表示)。

ネットワーク接続が無い場合(カテゴリ表示)は「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、その中の「ネットワーク接続」をクリックします。

２．上記いずれかの方法で「ネットワーク接続」のウィンドウが開きますが、「ＬＡＮまたは高速インターネット」というカテゴリ内に（カテゴリがない場合もあります）「ローカルエリア接続」がありますので下例図のようになっていることを確認してください。

ローカルエリア接続が複数ある場合は、そのうち１つがなっている事を確認してください。（下例図にある[Broadcom]の部分はLANアダプタによって異なります）

注　ローカルエリア接続が右図のように×マークになっている場合は、ＬＡＮケーブルがパソコン側でしっかり挿さっているかを確認してください。

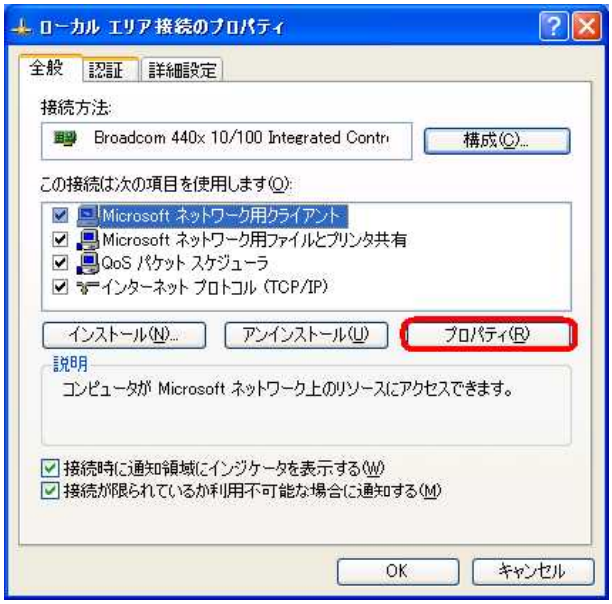
挿さっている場合はＬＡＮケーブルでＰＣの反対側に繋がっている機器が正常に作動していないか、ＰＣ内のセキュリティソフトが接続を阻害している可能性があります。

ローカルエリア接続自体が表示されない場合は「２－１－４．ネットワークアダプタの確認方法」(ｐ１１)をご確認ください。

次に下記の手順でTCP/IPの設定の確認を行います。

１．ローカルエリア接続のアイコンを右クリックし、サブメニュー内の「プロパティ（R）」をクリックします。

２．「インターネット　プロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）」を選択し、プロパティのボタンをクリックします。



３．「インターネット　プロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）のプロパティ」のウィンドウが開きます。
「ＩＰアドレスを自動的に取得する（O）」と「ＤＮＳサーバーのアドレスを自動的に取得する（B）」にチェックが付いている事を確認します。」

注　固定グローバルＩＰアドレスを利用する場合はここでＩＰアドレスを設定します。

固定グローバルＩＰアドレスの内容・申し込み・設定方法については弊社ホームページをご確認ください。

「固定グローバルＩＰアドレス（オプション）について」
http://www.mable.jp/?ID=1174

2－1－3．IPアドレスの取得（Windows XP）

１．ローカルエリア接続のアイコンを右クリックし、サブメニュー内の「状態」をクリックします。

２．「ローカル」エリア接続の状態」が開きますので、「サポート」のタグをクリックします。

ＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字であればＯＫなので「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。

ＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字以外であればｐ１２「IP アドレスが違う場合は？」をご確認ください。

注　ルーター（無線ＬＡＮ）をお使いの場合はＩＰアドレスもそれに準じた設定になります（多くの場合１９２．１６８．から始まるＩＰアドレスになります）。
詳細についてはルーター（無線ＬＡＮ）の取扱説明書をご覧ください。

２－１－４．ネットワークアダプタの確認方法

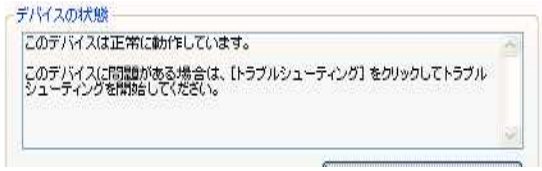
ネットワーク接続の中に「ローカルエリア接続」が見つからない場合はネットワークアダプタの動作の確認をする必要があるので、次の手順でネットワークアダプタが正常に動作しているかを確認してください。

1．スタートメニュー→コントロールパネル→システムの順に開き「ハードウェア」のタブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします（図1）。

図１

デバイスマネージャが表示されますので、「ネットワークアダプタ」をダブルクリックすると、正常な場合は（図2）のように取り付けられているLANカード（ボード）の名称が表示されます。
（ネットワークアダプタの型番は機種によって異なります）

図２



2．表示されたLANカード（ボード）をダブルクリックすると、LANのプロパティが開きますので、「全般」タブのデバイスの状態に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていればLANカード（ボード）は正常に取り付けられています。

上記1、2を確認しても記載の通りにならない場合（型番が表示されていない。警告マークがついている等）は、LANカード（ボード）のインストールが正常に行われていません。

LANカード（ボード）を正しくパソコンに取り付ける為には、付属のドライバソフトをインストールする必要があります。LANカード（ボード）の取り付け及びソフトのインストール方法に関しましては、接続するパソコンやLANカード（ボード）の種類によって異なりますので、付属のマニュアル等をご参照ください。

また、ご不明な点は製造メーカもしくは、サポート認定者にご相談ください。

IP アドレスが違う場合は？

Ｑ１．ＩＰアドレスの確認をすると１７２から始まる数字（プレミアム 120M コースの場合は２０２）ではなく、１６９から始まる数字になっています。
(固定グローバル IP アドレスを契約していない場合)
Ａ１．パソコンとケーブルモデムが繋がっていないか、ケーブルモデムが誤動作をしている可能性がありますので次の事を試してみてください。

①．ケーブルモデムの電源リセットを試みる。
②．ケーブルモデムとパソコンを繋げているＬＡＮケーブルをケーブルモデム側・パソコン側でそれぞれ２，３回抜き挿ししてみる。
③．セキュリティソフトの動作を止めてみる。

Ｑ２．ＩＰアドレスの確認をすると１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字ではなく、１９２から始まる数字になっています。
Ａ２．次の事を確認してみてください。

①．ケーブルモデムとパソコンを繋げるＬＡＮケーブルの途中にルーター（無線ＬＡＮ）がある。
この場合ルーターをご利用の場合はルーターのWAN側（ケーブルモデム側）のＩＰアドレスを確認してください。
（確認方法はルーターにより異なりますので、ルーターの取扱説明書をご確認ください。）

②．ケーブルモデムのランプ表示がおかしい。
この場合は点検の必要がありますので、マーブルまでご連絡ください。

③．ケーブルモデムのＩＰアドレスが「自動取得」になっていない。

ＩＰアドレスを自動取得に設定してください。

・WindowsXP　　**の場合→ｐ１０**
・Windows Vista　**の場合→ｐ１５**
・Windows ７　　**の場合→ｐ１８**
・Windows2000　**の場合→ｐ２８**
・**ＭａｃＯＳＸ　の場合→ｐ３０**

それでもうまくいかない場合は弊社サポートまでご連絡ください。

2－2
Windows Vista
接続設定方法

WindowsVista のパソコンはほとんどの場合、本体にＬＡＮボードを内蔵しています。

通常はＬＡＮボードの差し込み口と、ケーブルモデムのＬＡＮケーブルの差し込み口をＬＡＮケーブルで繋げるだけで接続完了となります。

通常は次の「ＩＰアドレス確認方法」に進んでください。（ルーター（無線ＬＡＮ）をご利用の場合はそれぞれの取扱説明書をご覧ください）

２－２－１．ＩＰアドレスの確認方法(Windows Vista)

Windows Vista の場合、次の方法で PC の IP アドレスを確認します。

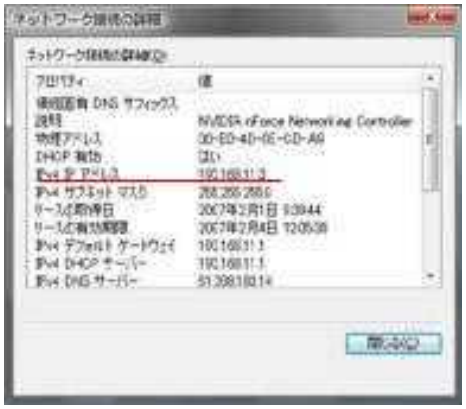
１．スタートボタンから［ネットワーク］を選択します。

２．「ネットワークと共有センター」をクリックします。

３．「状態の表示」をクリックします。

４．「ローカルエリア接続の状態」のウィンドウが開くので、接続中の「詳細(E)」のボタンをクリックします。

「IPv4 IP アドレス」で表示されているのが、マーブルネットで使用される IP アドレスの値です。



ＩＰアドレスが 172 から始まるものであれば問題ありません。
ＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字以外であればｐ１２をご確認ください。

２－２－２．ネットワーク設定の確認方法(Windows Vista)

以前に他ＩＳＰでインターネット接続をしていた等の場合は、ネットワーク構成が標準以外の状態になっているため設定を直す必要があります。その場合次の手順で確認してください。

１．２－２－１．の手順(p14)手順で「ローカルエリア接続の状態」を開き「プロパティ(P)」をクリックします。

２．「ローカルエリア接続のプロパティ」が開くので、「インターネット　プロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)」をクリックで選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。

３．「インターネット　プロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」のウィンドウが開くので、

「ＩＰアドレスを自動的に取得する(O)」と
「ＤＮＳサーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」

をそれぞれ選択します。

４．「ＯＫ」をクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」も「ＯＫ」で閉じます。

2－3
Windows7
接続設定方法

Windows7 は 2009 年にリリースされた最新の Windows です。

Windows ７のパソコンはほとんどの場合、
本体にＬＡＮボードを内蔵しています。

通常はＬＡＮボードの差し込み口と、ケーブルモデムのＬＡＮケーブルの差し込み口をＬＡＮケーブルで繋げるだけで接続完了となります。

通常は次の「ＩＰアドレス確認方法」に進んでください。（ルーター（無線ＬＡＮ）をご利用の場合はそれぞれの取扱説明書をご覧ください）

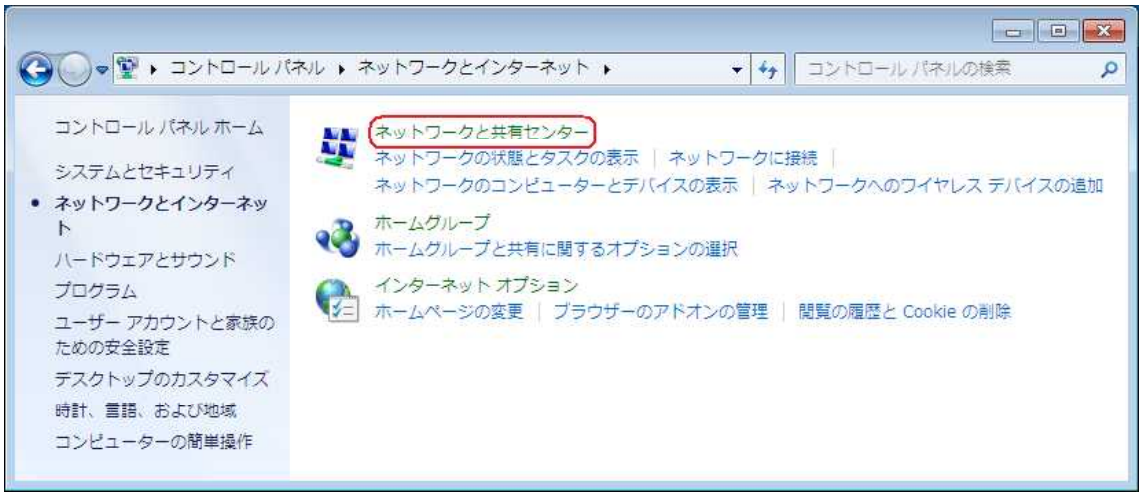
２－３－１．ＩＰアドレスの確認方法(Windows 7)

Windows ７の場合、次の方法で PC の IP アドレスを確認します。

１．スタートボタンから［コントロールパネル］を選択します。

2．「ネットワークとインターネット」をクリックします。

3．ウィンドウ内の「ネットワークと共有センター」をクリックします。



コントロールパネル内の表示方法が「小さいアイコン」であれば「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。

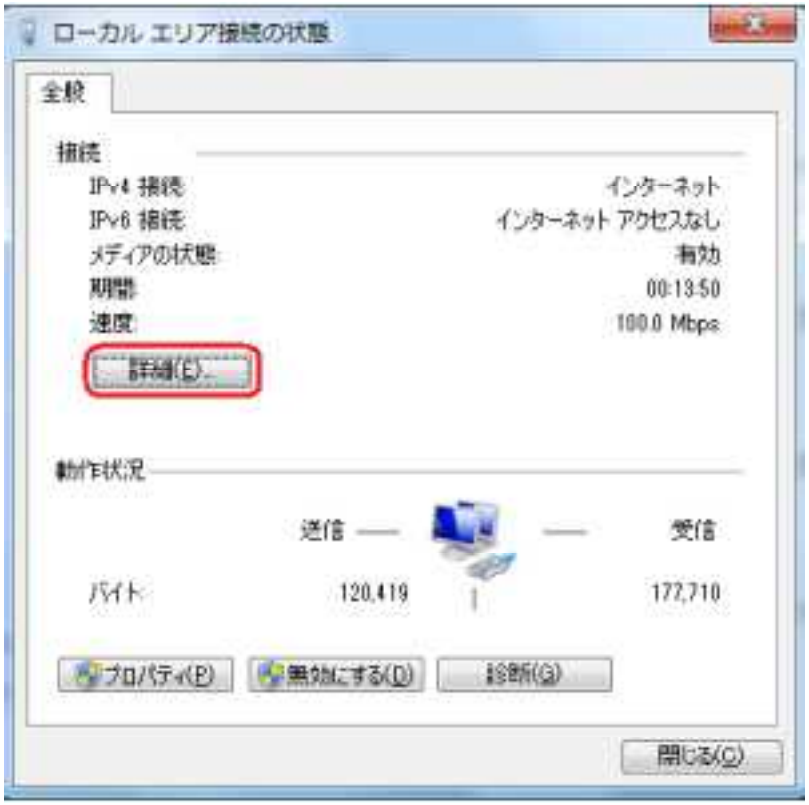
４．「ネットワークと共有センター」が表示されます。

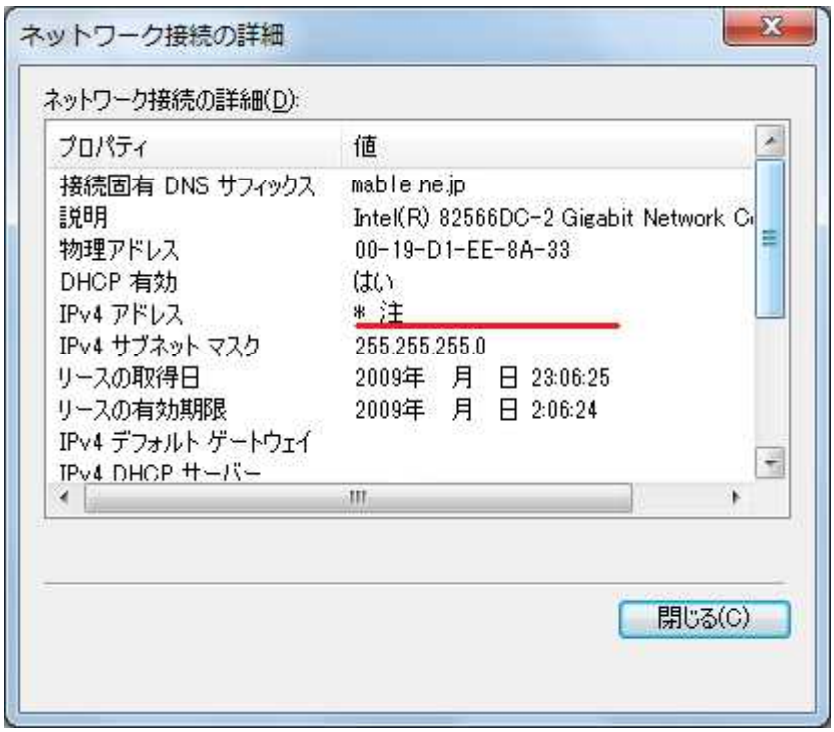
５．正常であれば上記のように「コンピューター」と「インターネット」が線で繋がった絵が表示されます。

６．「接続：」の右にある「ローカルエリア接続」をクリックすると「ローカルエリア接続の状態」のウィンドウが開きます。

注：無線ＬＡＮを使用している場合は「接続：」のところが「ワイヤレス接続」となりますので、その場合は無線ＬＡＮの取扱説明書をご確認ください。

６．詳細（E）のボタンをクリックします。





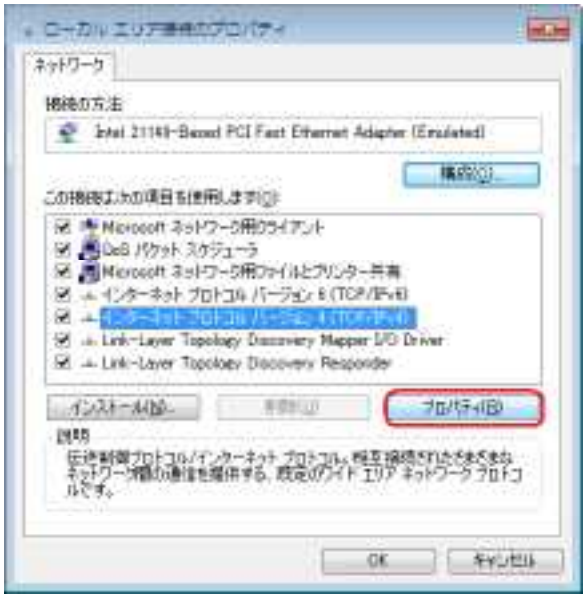
IPv4 アドレスのところ（＊注）が１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字であればＯＫなので「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。

ＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字以外であればｐ１２をご確認ください。

２－３－２．ネットワーク設定の確認方法(Windows ７)

以前に他ＩＳＰでインターネット接続をしていた等の場合はネットワーク構成が標準以外の状態になっているため設定を直す必要があります。その場合次の手順で確認してください。

２－３－１．の手順(p18)の手順で「ローカルエリア接続のプロパティ」を開きます。



図中の「プロパティ（R)」のボタンをクリックします

「ＩＰアドレスを自動的に取得する（O)」

「ＤＮＳサーバーのアドレスを自動的に取得する（B)」

をそれぞれ選択します。

「ＯＫ」をクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」も「ＯＫ」で閉じます。

2－4
Windows2000
接続設定方法

Windows2000 は 2010 年 6 月 30 日でサポートが終了します。Windows2000 で利用可能な InternetExplorer はバージョン６までとなっています。

２－４－１　LANカード（ボード）の動作確認（Windows2000）

まず、LANカード（ボード）が正常に動作しているかどうかの確認をします。

1. マイコンピュータ→コントロールパネル→システムの順に開き「ハードウェア」のタブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリック（図1）。
   「デバイスマネージャ」が表示されますので、「ネットワークアダプタ」をダブルクリックすると、正常な場合は取り付けられているLANカード（ボード）の名称が（図2）のように表示されます。

2. 表示されたLANカード（ボード）をダブルクリックすると、LANのプロパティが開きますので、「全般」タブのデバイスの状態に「このデバイスは正常に動作しています」と表示さていればLANカード（ボード）は正常に取り付けられています。

図 1

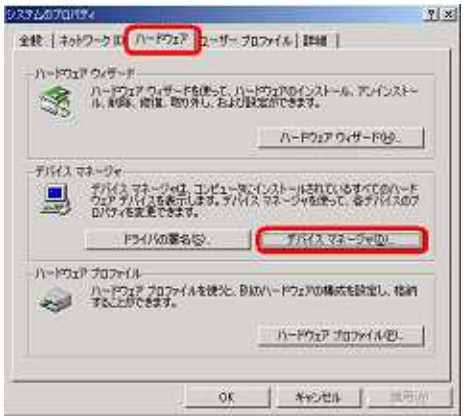


図 2

上記1、2を確認しても記載の通りにならない場合は、LANカード（ボード）のインストールが正常に行われていません。
LANカード（ボード）を正しくパソコンに取り付ける為には、付属のドライバソフトをインストールする必要があります。LANカード（ボード）の取り付け及びソフトのインストール方法に関しては、接続するパソコンやLANカード（ボード）の種類によって異なりますので、付属のマニュアル等をご参照ください。
また、ご不明な点は製造メーカもしくは、サポート認定者にご相談ください。

2－4－2．インターネットオプションの設定確認及び修正
(Windows2000)

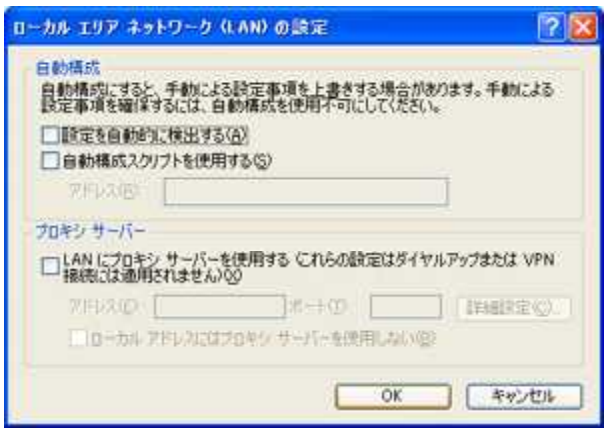
次に、下記手順でLANの設定を確認し、ダイヤルアップの設定になっている場合は修正します。

1．マイコンピューター→コントロールパネル→インターネットオプションの順に開きます。
「インターネットのプロパティ」が表示されますので、「接続」タブをクリックします。

2．「通常の接続でダイヤルする」にチェックが入っていないこと、もしくは、図のように文字が薄くなっていることを確認します。

3．「通常の接続でダイヤルする」にチェックが入っている場合、「ダイヤルしない」にチェックをします。

4．「LANの設定」のボタンを押します。



5．「ローカルエリアネットワーク（ＬＡＮ）の設定」内でチェックが付いている項目があれば　チェックを外します。

6．ＯＫのボタンを押します。

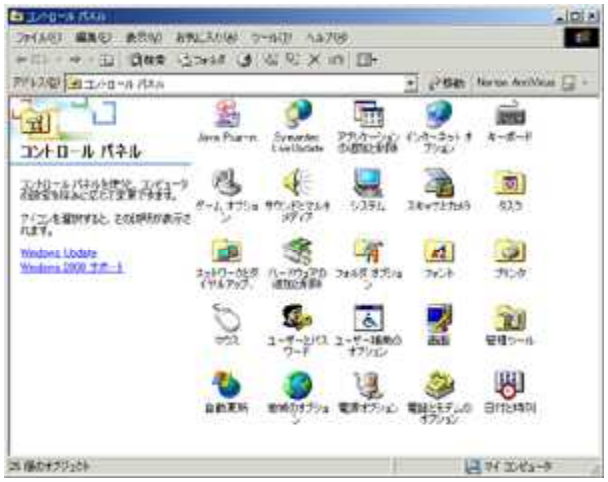
7．「インターネットのプロパティ」に　戻りますのでＯＫをクリックします。

2－4－3．LANのTCP/IP設定（Windows2000）

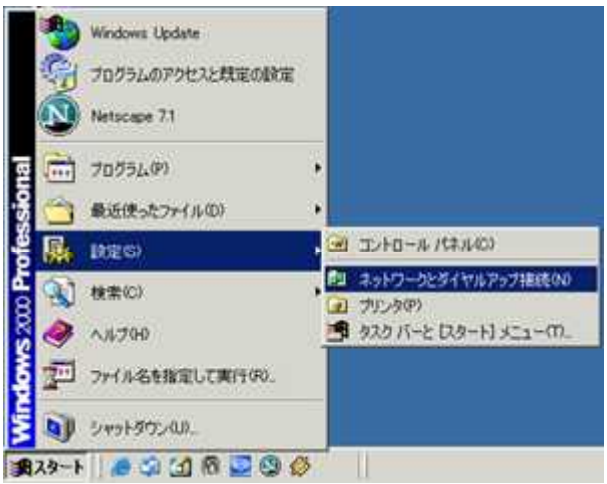
次に下記手順でTCP/IPの設定を行います。

1．以下のA．Bいずれかの方法で「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開きます。

A．「マイコンピュータ」内の「コントロールパネル」から「ネットワークとダイヤルアップ」を選択します。

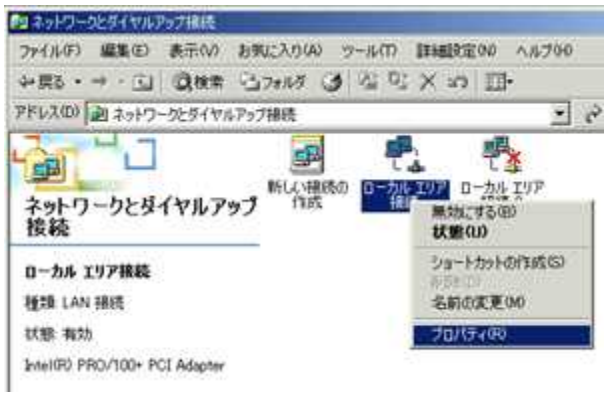


B．スタートからメニュー内の「設定」を選択し「ネットワークとダイヤルアップ(N)」　を選択します



2．「ローカルエリア接続」を右クリックし{プロパティ(R)}を選択します（図1）。

図１



3.「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されますので「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、プロパティをクリックします(図2)。

図２

4.「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が表示されますので、

「IPアドレスを自動的に取得する(O)」
「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する(B)」
にチェックをします。(図3)。

図３

5. OKをクリックします。

6. **2－4－4. IPアドレスの取得 (p. 28)** に進みます。

2－4－4．IPアドレスの取得（Windows2000）

1．スタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
　　「**cmd**」と入力しOKをクリックします。
（スタートメニュー、プログラム内の「コマンドプロンプト」でもかまいません）

2．図のような画面が立ち上がり、入力待ち状態になりますので
　　「**ipconfig**」と入力し、Enterキーを押します。

3．ＬＡＮカードの情報として「IPアドレス(IP Address)」が表示されます。ここの値が「**172**」で始まる数字であれば（プレミアム１２０Ｍであれば「**202**」で始まる数字になります）正常です。

4．「**exit**」と入力しEnterキーを押すとウィンドウが閉じます。

ＩＰアドレスが１７２．（プレミアム 120M コースの場合は２０２）以外の数字で始まる場合はｐ１２をご確認ください。

2－5.
MacOS X
接続設定方法

２－５－１　ＭａｃＯＳＸのセットアップ時

ＭａｃＯＳＸの初期セットアップ中、「インターネットの接続方法」、「インターネット接続の設定」の画面が出てくる場合がありますが、その場合は以下のように設定してください。（画面は１０．４のものです）

●インターネットの接続方法
　ローカルネットワーク（Ｅｔｈｅｒｎｅｔ）

●インターネット接続の設定
　ＤＨＣＰサーバーを参照

注　マーブルネットではＰＰＰｏＥを利用しません。ＰＰＰｏＥの設定を行う必要はありません。

ＭａｃＯＳＸでは次の方法で取得ＩＰアドレスを確認します。

２－５－２　ＩＰアドレスの取得（ＭａｃＯＳＸ）

１．アップルメニューから「システム環境設定」をクリックし、「インターネットとネットワーク」内のネットワークをクリックします。

２．ＩＰアドレスが表示されます。

３．「内蔵 Ethernet」をクリックすると詳細な情報が表示されます。

ＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字以外であればｐ１２をご確認ください。

2－6
その他
(ルーター[無線LAN]、ゲーム機、
ネット対応家電機器等)
の接続設定方法

２－６－１．設定に関する注意点

●ルーター[無線 LAN]の WAN 側、ゲーム機、ネットワーク対応家電機器等の基本設定は同じですが、機器によって項目の名称が異なる場合があります。
●ゲーム機を接続する場合、多くのオンラインゲームにおいてグローバルＩＰアドレスが必要となります。

２－６－２．ルーター[無線 LAN]の WAN 側、ゲーム機等の設定

ルーター[無線 LAN の WAN 側(インターネット側)の設定方法・確認方法はルーター毎によって異なりますので、詳しくはルーター[無線 LAN それぞれの取扱説明書をご確認ください。

標準では以下のように設定します。

・ＩＰアドレス：自動取得
（ＤＮＳサーバー：自動取得）
・ＰＰＰｏＥ：使用しない
・プロキシ（proxy）サーバー：使用しない

WAN 側の IP アドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まる数字以外であればｐ１２をご確認ください。

２－６－３．ルーター[無線 LAN]のＬＡＮ側（パソコン側）

ルーター[無線 LAN]の LAN 側（パソコン側）の設定方法・確認方法はルーター[無線 LAN]毎によって異なりますので、ルーター[無線 LAN]それぞれの取扱説明書をご確認ください。

ルーター[無線 LAN]を介して接続する場合、接続する機器の設定はルーター[無線 LAN]のＬＡＮ側の設定に準じたものになります。

注意！

●ＰＣからルーター[無線 LAN]に繋ぎ換える際には、ルーター[無線 LAN]に繋ぎ換えた後に一旦「ケーブルモデムの電源リセット」を行ってください。リセットを行わないと接続できなくなる場合があります。

電源リセットの方法はｐ６５をご覧ください。

●グローバルＩＰアドレスのオプションをご利用の場合は、ルーター[無線 LAN]の WAN 側（インターネット側）にグローバルＩＰアドレスの設定を行ってください。

ルーター[無線 LAN]のＬＡＮ側の設定は用途・目的にあわせて決めてください。

3. 電子メールソフトの設定

３－１．電子メール

３－１－１．マーブルネットの電子メールサービスについて

マーブルネットでは電子メールに関して以下のようなサービスを行っています

○メールアドレスを１つ提供します。このメールアドレスについてはウィルスチェックを行っているのでウィルスが添付されたメールが届くことはありません。
○メールの転送を設定する事ができます。
○メールアドレスを追加したり、メールの容量を追加したりする事ができます。
　マーブルネットでは１アカウントにつき１０ＭＢのメールボックス領域を提供しています。

３－１－２．メールソフトの設定

電子メールを利用するためには電子メールソフトの設定を行う必要があります。
このマニュアルでは以下のメールソフトの設定方法をご説明いたします。

・Outlook Express(Windows XP 以前)
・Windows メール(Windows Vista のみ)
・Mail(Mac OS Ｘ)
・Windows Live メール(WindowsXP 以降)

Windows7 では標準のメールソフトがなくなり、WindowsLive サービスを利用する事を推奨しています。

上記以外のメールソフトについてはマーブルのホームページをご覧いただくか、弊社サポートまでお問い合わせくださいませ。

メールソフトの一例
・Microsoft Outlook 2000
・Microsoft Outlook 2002(XP)
・Microsoft OfficeOutlook 2003
・Microsoft OfficeOutlook 2007

・Thunderbird
・@メール(富士通のプレインストールソフト)
・Shuriken (ジャストシステム)
・秀丸メール

３－２．メールソフト設定の前に

３－２－１．電子メールの設定を行う際の注意点

・メールアドレス・サーバーのデータは半角英数文字（直接入力状態）で入力します。
半角／全角と小文字／大文字は全く異なる物です。詳しくはｐ４４をご参照ください。

・メールソフトのほとんどは設定を行う際入力されたパスワードを［＊］（アスタリスク）で表示します。
　これはセキュリティの関係によるものですが、入力した文字に間違いがないかどうかを確認するためにはコピー＆ペーストを利用するなどしてください。

・メールサーバーの名称はメールソフトによって異なる場合があります。
例：
「ｐｏｐサーバー」　　は受信メールサーバー　の意味です。
「ｓｍｔｐサーバー」　は送信メールサーバー　の意味です。

・マーブルネットではＡＰＯＰ，ＩＭＡＰ等のメールプロトコルに対応していません。
メールソフトを設定する場合は一般的なＰＯＰを設定してください。

・マーブルネットでは複数のメールアドレスを取得する事ができます。
お申し込みはマーブルのホームページからの受付となります。

・マーブルネットではメールアドレスの変更を無料で行う事ができます。
お申し込みはマーブルのホームページからの受付となります。

・マーブルネットではメールの転送も設定する事ができます。（無料）
お申し込みはマーブルのホームページからの受付となります。

・マーブルのメールアドレスはマーブルのケーブルモデムに繋がっているパソコンからのみメール送信ができます。他社プロバイダ経由でのメール送信はできません

３－２－２．スタートメニューのメールソフトの変更方法

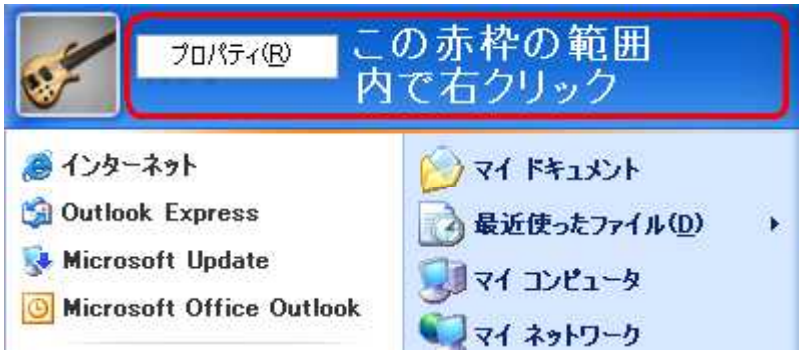
Windows　XP ／ Vista ではスタートメニューで使える Web ブラウザ／電子メールソフトが設定できるようになっています。
（Windows のシステムで使用する標準のブラウザ／メールソフトとは別になります。）

Windows　XP ／ Vista ではスタートメニュー内に通常使用の Web ブラウザと電子メールソフトが表示されます。
（「大きいアイコン」を使用した状態では「通常使用の Web ブラウザ」と「電子メールソフト」はそれぞれ「インターネット」「電子メール」と表記される場合があります。（旧来のクラシックメニューあるいは「小さいアイコン」を使用した状態では「インターネット」「電子メール」と表記されません）

通常電子メールアドレスには「OutlookExpress」（WindowsXP）「Windows メール(WindowsVista)」が設定されていますが、初期の WindowsXP によっては「MSN Explorer」になっていたり、Microsoft　Office がインストールされていた場合は「Outlook」になっていたり、メーカー独自のメールソフトがインストールされている場合もあります。同じように Web ブラウザも一般的な Internet　Explorer 以外になっている場合がありますが、これを変更するには次のように操作します。

３－２－３．変更の手順(Windows XP)

スタートボタンのところでマウスの右クリックをし、出てきたサブメニュー内の「プロパティ(R)」をクリックします。



スタートメニューの上のログイン名の右側で左クリックをしてもプロパティを選ぶ事ができます。

「タスクバーと「スタート」メニューのプロパティ」というウィンドウタイトルのウィンドウが開きます。

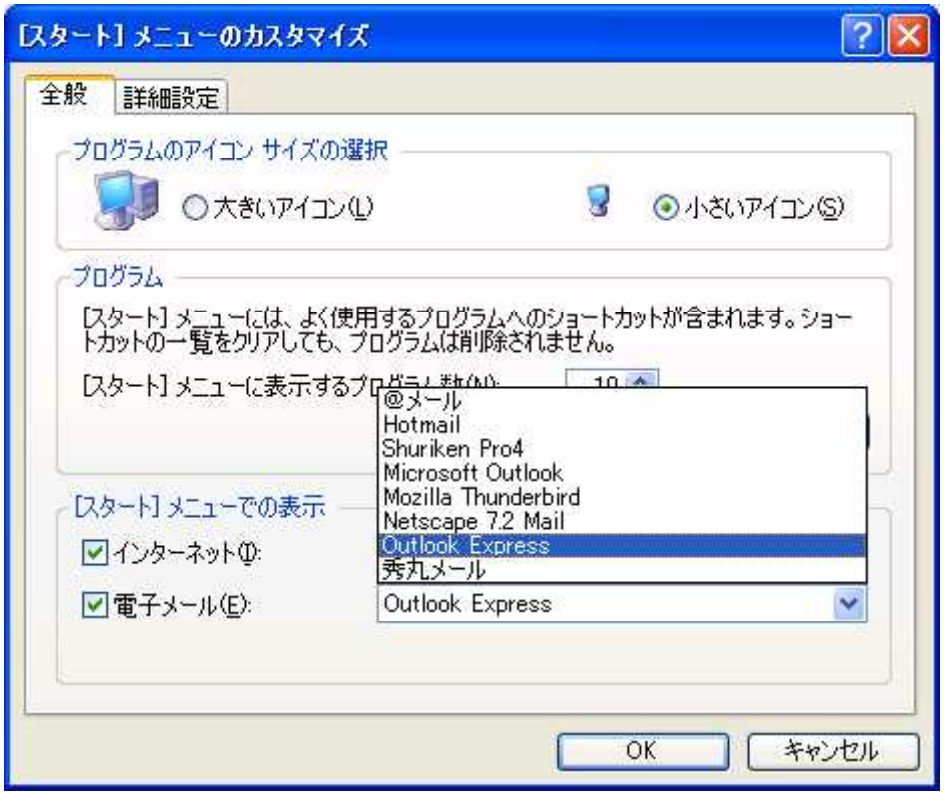
見出しタグとして「タスクバー」「[スタート] メニュー」があります。

「カスタマイズ(C)」のボタンをクリックします。

「スタートメニューのカスタマイズ」というウィンドウタイトルのウィンドウが開きます。

「[スタート]メニューでの表示」内にインターネット（I）・電子メール（E）の各項目があり、起動するソフトが指定されています。

をクリックすると選択できる起動ソフトを選ぶ事ができます。



「OK」のボタンをクリックします。

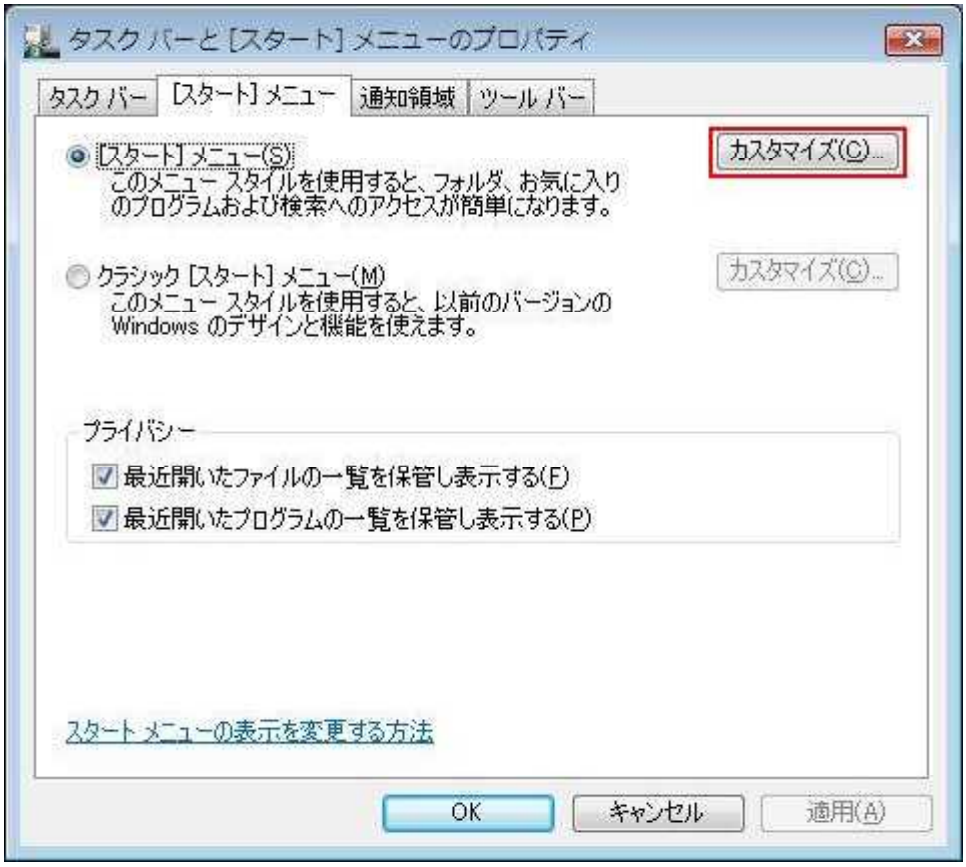
「タスクバーと「スタートメニューのプロパティ」に戻るので「適用(A)」のボタンをクリックしてから「OK」をクリックします。

３－２－４．変更の手順(Windows Vista)

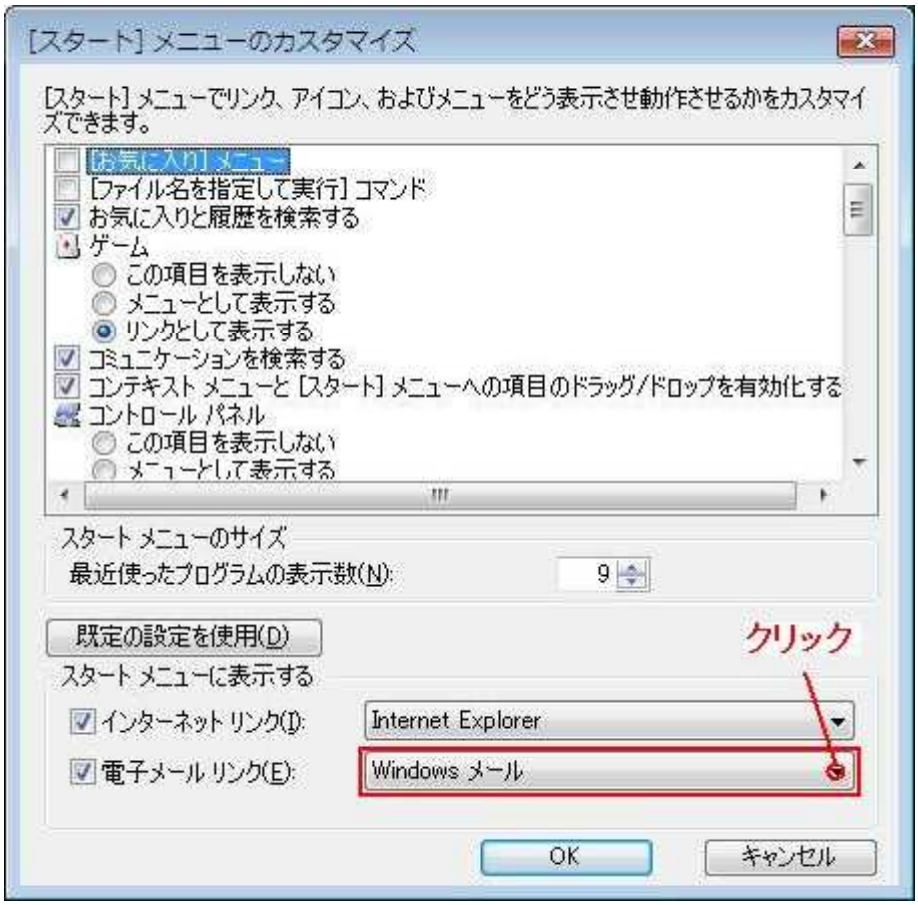
スタートボタンのところでマウスの右クリックをし、出てきたサブメニュー内の「プロパティ」をクリックします。

スタートメニューの上のログイン名の左側で右クリックをしてもプロパティを選ぶ事ができます。

「タスクバーと「スタート］メニューのプロパティ」というウィンドウタイトルのウィンドウが開きます。
見出しタグの中の「［スタート］メニュー」が選択された状態になります。



「スタートメニューのカスタマイズ」というウィンドウタイトルのウィンドウが開きます。



「スタートメニューに表示する」内に「インターネットリンク（I）」・「電子メールリンク（E）」の各項目があり、起動するソフトが指定されています。

をクリックすると選択できる起動ソフトを選ぶ事ができます。

「ＯＫ」のボタンをクリックします。

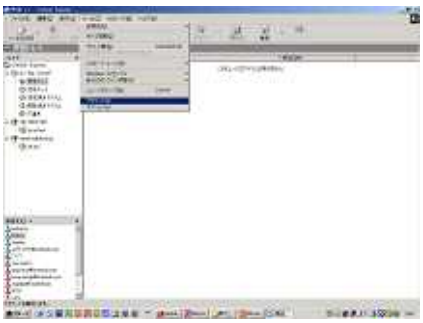
「タスクバーと「スタートメニューのプロパティ」に戻るので「適用(A)」のボタンをクリックしてから「ＯＫ」をクリックします。

3－3
Outlook Express
(Windows 2000/XP)
設定方法

電子メールソフト Outlook Express の設定方法

1．下記手順でOutlookExpressを起動します。
＜WindowsXP＞スタートメニュー→すべてのプログラム→ OutlookExpress
＜Windows2000＞スタートメニュー→プログラム→ OutlookExpress

OutlookExpressを最初に起動した場合「インターネット接続ウィザード」が起動することがありますが、キャンセルボタンで全て閉じてください。



2．ツール→アカウントをクリックします（図1）。

図 1

3．インターネットメールアカウントが表示されますので、「追加」ボタンをクリックし、「メール」を選択します（図2）。

図 2

4．インターネット接続ウィザードが表示されますので、「表示名」を入力し「次へ」をクリックします（図3）。

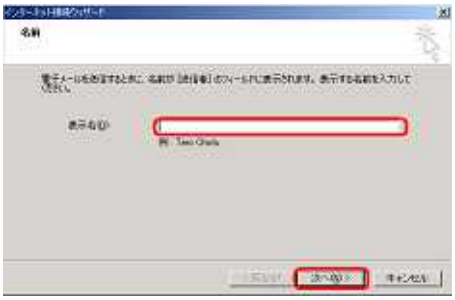


図 3

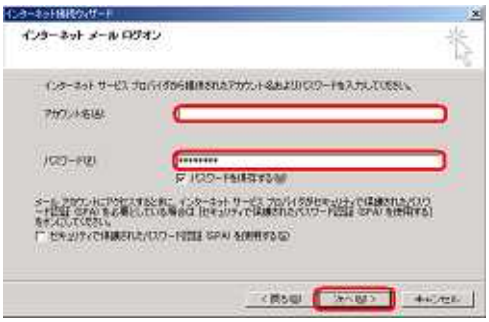
5．次に電子メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします（図4）。

図 4

6. 次に「電子メールサーバ名」が表示されますので、下記を入力し次へをクリックします（図5）。

図５
受信メールサーバーの種類　POP3
受信メールサーバー　pop.mable.ne.jp
送信メールサーバー　mail.mable.ne.jp

7. 次に「インターネットメールログオン」が表示されますので、下記項目を入力し次へをクリックします（図6）。



アカウント名：
「マーブルネット接続設定についてのご案内」に記載のメールアカウント
パスワード：
「マーブルネット接続設定についてのご案内」に記載のパスワード
図６

入力されたパスワードは「＊」で表示されますので、大文字小文字を正確に入力してください。

8. 最後に「完了」をクリックして設定は終了です（図7）。

図７

電子メールソフトの注意点

利用に関して

●マーブルのメールアドレスは他プロバイダ経由でも受信する事ができますが、送信の場合はマーブルネット網内（マーブルのケーブルモデムに繋がっているパソコン）からしか送信する事ができません。
●マーブル網外からメールを送信する場合はそのＩＳＰが提供する送信サーバーを利用するか、フリーメール（Yahoo!メール、Windows Live メール、Hotmail 他）をご利用ください。

設定に関して

●電子メールアドレスの設定を行う際、メールアドレス、メールサーバー、パスワードなどを設定する必要がありますが、その際には「直接入力」「半角英数」で
入力する必要があります。
注：［半角／全角］と［大文字／小文字］は意味が異なります。
（例；A[全角大文字]、A［半角大文字］、ａ［全角小文字］、a［半角小文字］ ）

通常大文字を入力する時には SHIFT キーを押しながらアルファベッドのキーを押します。
CAPSLOCK が掛かった状態では通常が大文字、SHIFT を押せば小文字になります。
CAPSLOCK を切り替える場合は SHIFT を押しながら Caps Lock を押してください。

Windows では言語バーの文字表示が「_A」となっている状態にしてください。(MS-IME)
「あ」「A」であれば　全角入力の状態なのでキーボードの「半角／全角」キーで直接入力に切り替えてください。

ＭａｃＯＳの場合は「英数」キーを押して確実に「直接入力」の状態にしてください。

●メールソフトの「送信者名」はメールを送った相手に表示される、メールの送り主の名前です。送信者名は日本語も使用可能です。

3－4
Windowsメール
(Windows Vista)
設定方法

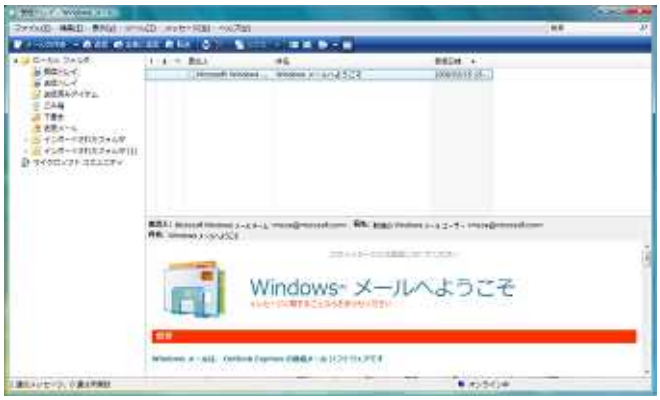
電子メールソフト Windows メールの設定方法

３－４－１．Windows メールとは

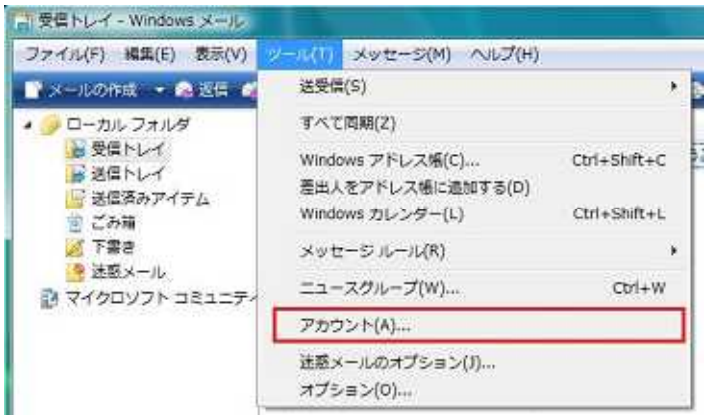
WindowsXP までは「OutlookExpress」が Windows の標準メールソフトでしたが、「Windows メール」は Windows Vista に標準で搭載されているメールソフトです。
Windows メールはセキュリティ・検索・迷惑メール処理の機能が向上しています。
Windows メールの操作方法等は OutlookExpress とほぼ同じです。

３－４－２．実際の設定手順

１．Windows メールを起動します。



２．Windows メール起動直後の画面が出ます。
Windows メールをはじめて起動した場合は 6.の項目から始まります。



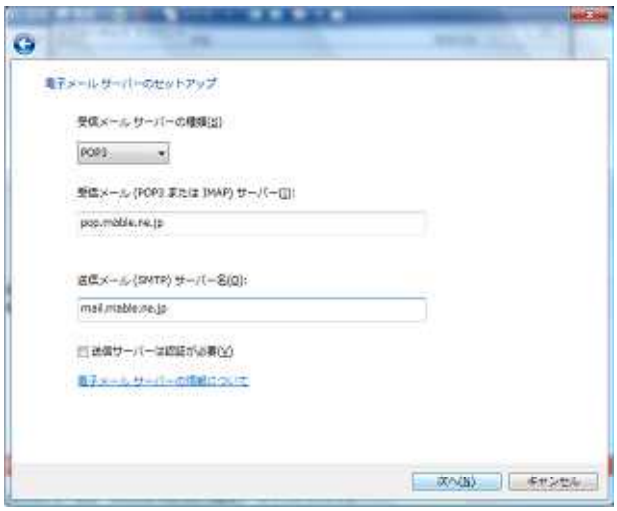
3．メニューから［ツール(T)］－［アカウント(A)］を選択します。

4．右にある[追加(A)]のボタンをクリックします。

5．「電子メールアカウント」をクリックし、「次へ(N)」をクリックします。

６．表示名を入力し「次へ(N)」をクリックします。
（表示名とはメールを送った相手側に表示されるメールの送信者名です。）

７．マーブルが発行した設定書に記載してある電子メールアドレスを入力し「次へ(N)」をクリックします。
メールを受け取った側が「返信」した場合、メールはこのアドレスに対して返信されます。

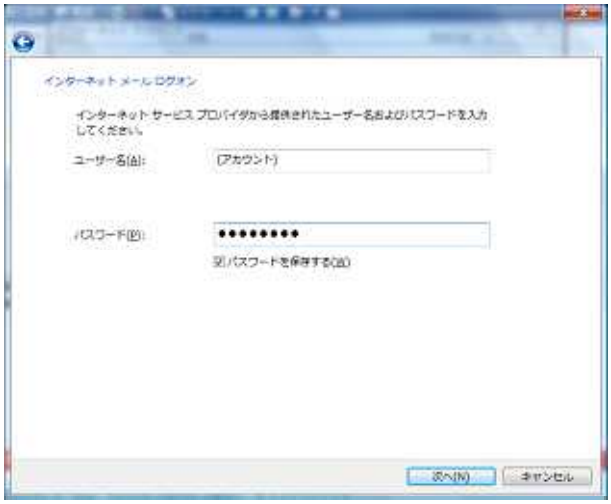


８．メールサーバー名を入力し「次へ(N)」をクリックします。

受信メールサーバーの種類　**POP3**

受信メールサーバー　**pop.mable.ne.jp**
送信メールサーバー　**mail.mable.ne.jp**

「送信サーバーは認証が必要(V)」にチェックはつけないでください。

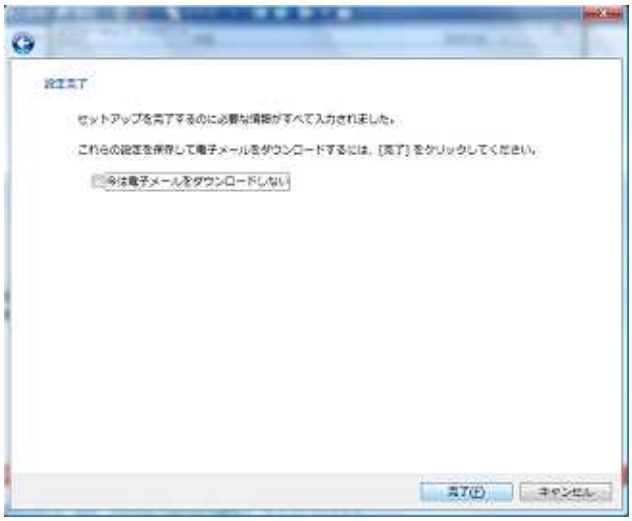


９．アカウント名はメールアドレスから自動的に設定されます。

「マーブルネット接続設定についてのご案内」に記載のパスワードを半角文字（直接入力）で入力します。

入力されたパスワードは「●」で表示されますので、大文字小文字を正確に入力してください

「次へ(N)」をクリックします。



１０．最後に「完了」をクリックして設定は終了です。

迷惑メールについて

知らないところから心当たりの無い不要なメールが届く場合があります。このような迷惑メールをスパム(spam)メールといいますが、これらは以下のような方法で送り先のメールアドレスを収集し送信される、と言われています。

１．ネット上のサイトに自分のメールアドレスを登録した
２．プログラムで自動生成されたメールアドレスがたまたま自分のメールアドレスと一致とした
３．自分のパソコンがウィルスに感染し、そこからメールアドレスが漏れた。
４．自分のメールアドレスを知っている人のパソコンがウィルスに感染し、そこからメールアドレスが漏れた。

正規なサービスへのアドレスへのメールアドレス登録（１.）であればそのサイトへの配信停止をする事で受け取りを拒否する事ができますが、こちらの同意無しで送られてくる迷惑メール（２．以降のケース）は受け取る側で対処するしか方法がありません。（迷惑メールは利用者によってその判断基準が異なるため)。
また迷惑メールの発信者は発信者が詐称してあるため、メール送信者に返信しても停止する事ができない場合がほとんどどあり、場合によってはより一層迷惑メールが届く場合もあります。

迷惑メールを読まなくても済むようにするためには以下の方法があります。

●迷惑メールを処理してくれるメールソフトを使用する。

メールソフトの「メールの振り分け機能」を利用して迷惑メール用のフォルダに移動させる方法があります。但し送信者を詐称している場合は送信者のアドレスで振り分ける方法はあまり有効ではありません。
迷惑メールに強いメールソフトはメールの内容を分析する事によって迷惑メールかどうかを判定します。

●迷惑メールを判定してくれるソフトを利用する。

ウィルス対策ソフトの中には迷惑メールかどうかを判定し、特定の処理をする（メールの件名に[spam]等の文字を追加する、特定のフォルダに移動させる）機能を持つものがあります。

上記の各種ソフトについてはショップにお問い合わせください。

詳しくは弊社ホームページ等をご覧いただくか、弊社サポートまでお問い合わせください。

3－5
Windows　Live メール
(Windows 7/Vista/XP)
設定方法

電子メールソフト Windows Live メールの設定方法

３－５－１．Windows Live メールとは

Windows Live メールは Windows Live サービスの一つとして提供されたメール環境です。Windows Live メールは Microsoft が提供するメールサービスだけではなく、マーブルネットを含む一般プロバイダのメールにも対応しています。

Microsoft は Windows7 から標準 Windows の標準メールソフトを Windows Live メールにしました。Windows Live メールは WindowsXP/Vsita でも利用可能です。

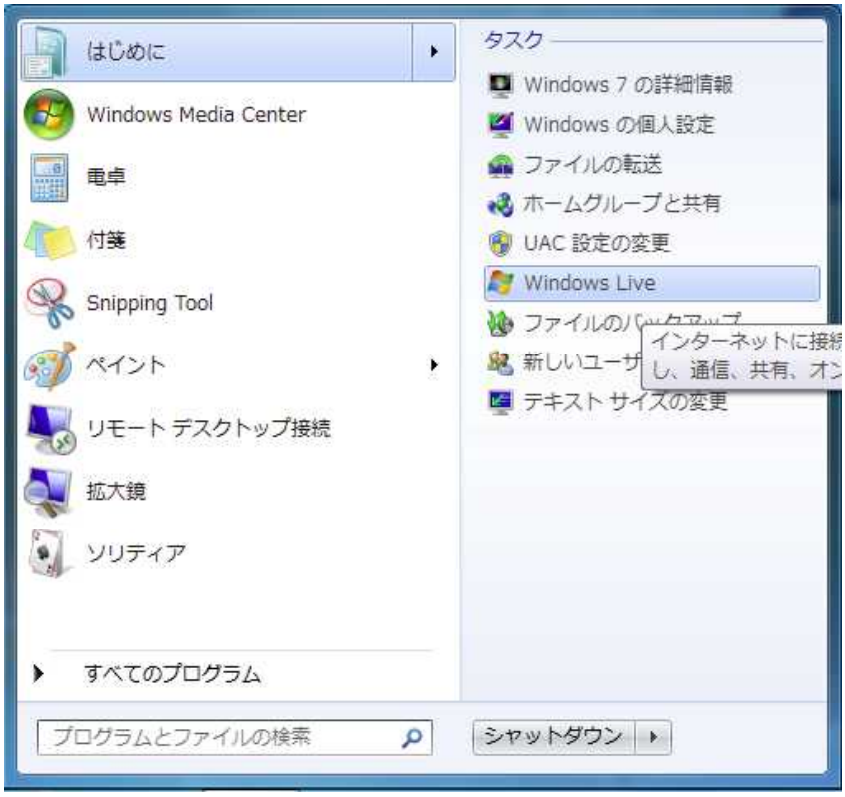
Windows Live メールの入手方法

Windows Live メールを含む Windows Live の各種サービスはマイクロソフトのサイトからインストールソフトをダウンロードする必要があります。（一部メーカーパソコンではにインストール済みになっているものがあります）

●Windows7 の場合

Windows7 の場合はスタートメニューの「全てのプログラム」内にある「はじめに」内の「Windows Live」をクリックし、マイクロソフトのサイトからダウンロードしてください。

Windows7 初期のスタートメニュー例



●WindowsXP/Vista の場合

「Windows Live ダウンロード」(http://download.live.com/)のサイトから Windows Live サービスのソフト(メールを含んだもの)をダウンロードしてください。

３－５－２．Windows Live メールの設定方法

WindowsXP/Vista にインストールする際それまで OutlookExpress/Windows メールを使っていたならば WindowsLive メールはその設定を自動的に読み取るので改めて設定をする必要はありません。

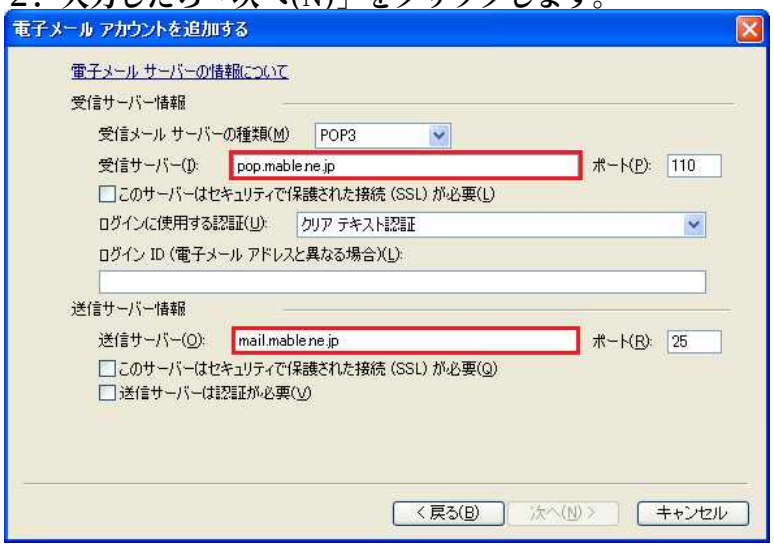
新規で登録する場合は以下の手順となります。

１．インストールが完了すると設定画面になります。
アカウント設定設定に必要な情報はA４ピンク紙「メールアカウント登録完了のご案内」に書いてあります。

「電子メールアドレス(E)」
「パスワード(P)」
「表示名(D)」

をそれぞれ入力してください。

２．入力したら「次へ(N)」をクリックします。



サーバー設定
「受信サーバー(I)」
「送信サーバー(O)」
をそれぞれ入力してください。

受信メールサーバーの種類
POP3
受信メールサーバー
pop.mable.ne.jp
送信メールサーバー
mail.mable.ne.jp

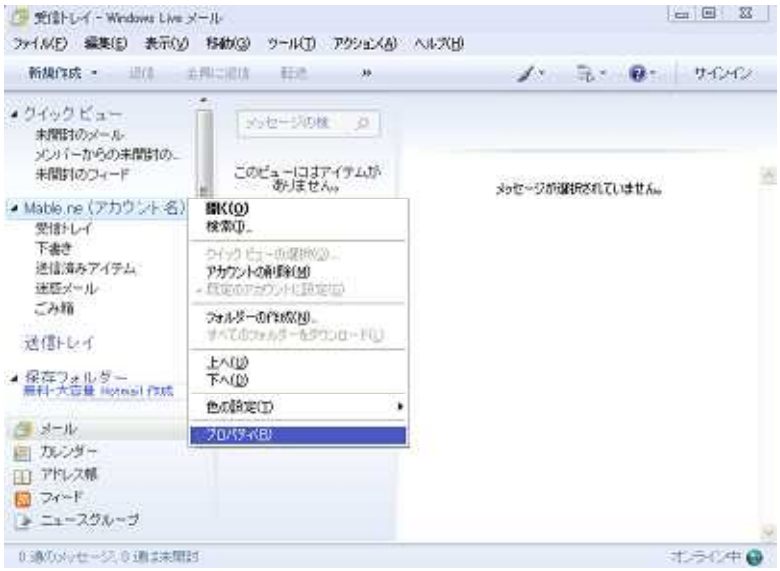
３．入力したら「次へ(N)」をクリックします。

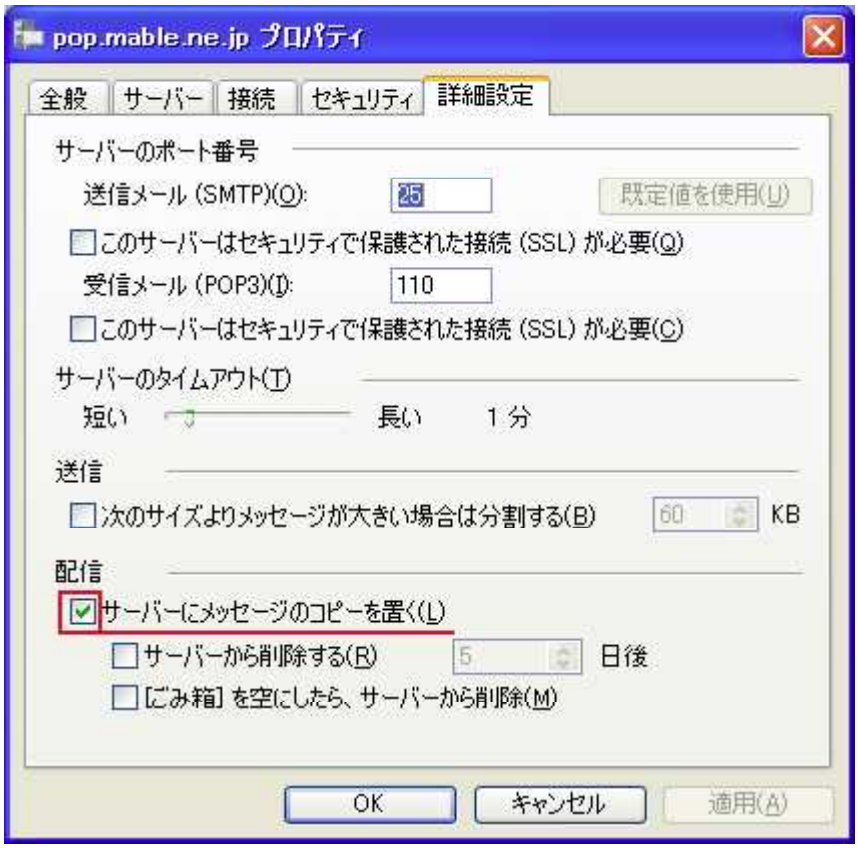
「完了」をクリックします。

４．WindowsLive **メールの起動画面に戻るので次に作成したアカウントの設定を変更します。**

Windows Live **メールは初期設定の状態で受信したメールをメールサーバーに残す設定になっています。**
メールを受信した際こまめにメール削除をしないと、メールを一時的に保管するメールボックスがいっぱいとなり､やがて新規のメールが受信できなくなってしまいます。
これを避けるためには「受信したメールを削除する」ように設定を変更する必要があります。

新規作成されたアカウントのところで右クリックをし、サブメニュー内の「プロパティ(R)」をクリックします。





詳細設定「詳細設定」の見出しタブが選択されている状態で「配信」の項目内の「サーバーにメッセージのコピーを置く(L)」のチェックを外し「ＯＫ」をクリックします。

ウィルス対策ソフトについて

コンピューターウィルスには色々な種類があり、パソコンの中のデータを外部にもらすもの、迷惑メールの発信元になるもの、パソコンの正常な動作を妨害するもの等多種多様にわたっています。Windows の場合 XP 以降ではパソコンの中でウィルス対策ソフト（セキュリティソフト）が作動していない場合警告を表示するようになりましたが、これを無視してパソコンを使っている方が多数いらっしゃいます。

ウィルス対策ソフトはこれらのウィルスを防御駆除してくれますが、期限切れになったまま放置している、あるいはパソコンの動作が遅くなるという理由で無効にしている場合は当然無防備となるため、いつ被害に遭うのかわかりません。

被害をうけないためにもパソコンの中にはウィルス対策ソフトをインストールし、常に最新の状態にしておく必要があります。

WindowsXP(SP2 以降)／ Vista ／７ではウィルス対策ソフトがほぼ必須となっているため、大手メーカー製のパソコンでは必ず試供版等のウィルス対策ソフトがインストールされています。

新規にウィルス対策ソフトをインストールする場合は、古いウィルス対策ソフトを削除(アンインストール)した上で、新しいものをインストールしてください。多くの場合異なる種類のウィルス対策ソフトが同じパソコン内で動作していると接続できなくなる等トラブルの原因となります。

詳しくはウィルス対策ソフトの説明書等をご覧ください。

どのようなウィルス対策ソフトを使えばいいのか？

すでにウィルス対策ソフトが入っている場合は同じソフトの最新版（新年度版）をインストールする事をお奨めしますが、新しいバージョンにおいてはパソコンに必要な性能基準が変わっている場合があります。（古いＯＳがサポート対象外になっている等）

詳しくは各ウィルス対策ソフトの説明書等をご覧ください。

3－6
メールソフト
Mail (MacOS　X)
設定方法

Ｍａｉｌ　(ＭａｃＯＳ　Ｘ）の設定方法

３－６－１．Ｍａｉｌとは

Mail は MacOS X の標準メールソフトです。

３－６－２．Ｍａｉｌの設定方法

以下は MacOS X（10.4 Tiger）の画面です。

１．Dock の中から Mail を起動します。

Mail のアイコンをクリックします。

「アカウントの種類」では「ＰＯＰ」を選択します。

マーブルネットではＳＳＬを使わないので設定ウィザードの途中に出てくるＳＳＬは設定しないでください。

２．氏名とメールアドレスの欄に入力します。

　氏名はメールを送った相手先に表示される送信者の名前です。日本語でも可です。
メールアドレスはマーブルからお渡ししたメールアドレスを入力します。（半角英数）

３．受信メールサーバー、ユーザ名、パスワードを入力します。

　ユーザー名はメールアドレスの@より前の部分（アカウント）になります。
　パスワードはメールのパスワードです。大文字・小文字にご注意ください。

４．送信メールサーバーを入力します。
　　認証は使用しないので以降の項目（ユーザ名、パスワード）は入力しません。

続けるをクリックします。

５．入力内容を確認し「設定結果」になれば終了をクリックしてメールの設定が終了です。

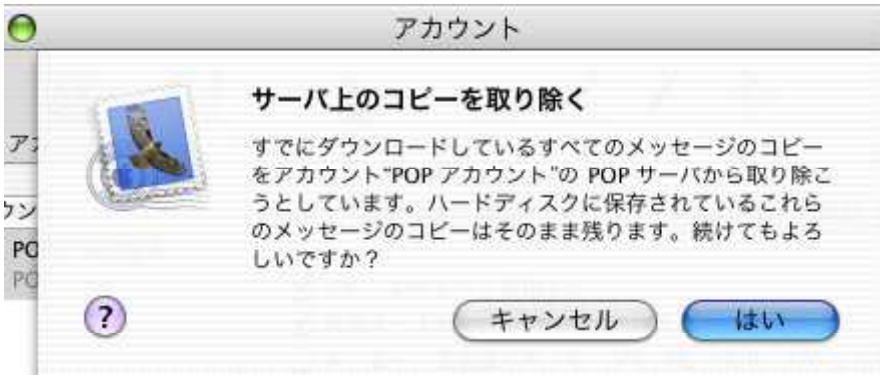
Ｍａｃのメールソフトは標準の初期設定で受信したメールをメールサーバーに残す設定になっています。
メールを受信した際こまめにメール削除をしないと、メールを一時的に保管するメールボックスがいっぱいとなり、新規のメールが受信できなくなってしまいます。
これを避けるためには「受信したメールを削除する」ように設定を変更する必要があります。

１．メニューの「Ｍａｉｌ」から［環境設定］を選択します。

２．「アカウント」のボタンをクリックし、「詳細」をクリックします。

３．「メッセージ受信時にメッセージのコピーをサーバーから取り除く」にチェックを入れます。

４．この時次のようなメッセージが出ますが「はい」をクリックします。



設定は以上です。

「アカウント情報」をクリックするとＭａｉｌに設定した内容を確認することができます。

注

Ｍａｃの殆どのメールソフトは「受信したメールをメールサーバー内に残す」が標準設定になっています。

マーブルネットでは１アカウントに対し１０ＭＢのメールボックス容量を提供していますが、メールをサーバーに残す設定にしたままにしておくと、メールボックスが満杯になり、以降のメールが受信できなくなる場合があります。

メールを受信した後は不要なメールを削除するか、上記のようにサーバーにメールを残さない設定にしてください。

4. 困ったときは

４－１．インターネットもメールもできない
（インターネットに接続できない）

Ｗｅｂページ（Yahoo!JAPAN など）も表示されない（「ページが見つかりません」と表示される等）、メールもできなくなった場合は以下の項目を行ってください。

まずケーブルモデムのリセット（電源の切り入り）を行ってください。

リセットの詳細はケーブルモデムのマニュアル「マーブルネット設定マニュアル　ケーブルモデム・マーブルフォンについて」をご参照ください。

ケーブルモデムの初期化が完了しランプ表示が落ち着いたのを確認してからパソコンのの確認をしてください。

ケーブルモデムのリセットで解決しない時は、パソコンのＩＰアドレスを確認した上で、ｐ１２「ＩＰアドレスが違う場合は」を参照してください。

パソコンのＩＰアドレスの確認方法

・Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰ　　ｐ１０
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　　ｐ１５
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　７　　ｐ１８
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００　　ｐ２８
・ＭａｃＯＳ　Ｘ　　ｐ３０

・Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８／Ｍｅ　　設定マニュアル「はじめに」のｐ２

パソコンのＩＰアドレスが１７２（プレミアム 120M コースの場合は２０２）から始まるものであっても接続できない場合は弊社サポートまでご連絡ください。

注
Ｗｉｎｄｏｗｓ９８／Ｍｅの場合、ＩＰアドレスが実際のものと異なる値が表示される場合があります。設定マニュアル「はじめに」のｐ８「２－２－２　ＩＰアドレスの取得(Windows98、Me)」を参照の上、正しいＩＰアドレスをご確認ください。

Windows2000 ／ＸＰ／Ｖｉｓｔａ／７ではネットワークが無効に設定されている場合があります。この場合はネットワークを「有効」に設定し直してください。
それぞれ以下のページから「ローカルエリア接続」のアイコンを表示させ、右クリックするとサブメニューが表示されるので「有効にする」をクリックしてください。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰ　　ｐ１０
Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　　ｐ１５
Ｗｉｎｄｏｗｓ　７　　ｐ２１
Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００　　ｐ２６

ルーター（無線ＬＡＮ）をご利用の場合

ルーター（無線ＬＡＮ）を使ってケーブルモデムとパソコンを接続している場合は、次の順序でリセットを行う必要があります。

１．ルーター（無線ＬＡＮ）のリセットを行います。
　　リセットの方法はルーター（無線ＬＡＮ）の取扱説明書をご覧いただくか、電源の切り入りを行ってください。

２．ルーター（無線ＬＡＮ）の初期化が完了してから、ＰＣでインターネットができるかどうかを確認してください。

ルーター（無線ＬＡＮ）のリセットをしても接続しない場合は、ケーブルモデムを含めたリセットを行う必要がございます。ケーブルモデムとルーターのリセット手順は次の通りです。

①ルーター（無線ＬＡＮ）の電源を切ります。（ＡＣアダプタを外します）
②ケーブルモデムのリセット（電源の切り入り）を行います。
③ケーブルモデムの初期化が完了したら、ルーター（無線ＬＡＮ）の電源を入れます。
④ルーターの初期化が完了したら、インターネットに繋がるかどうかを確認してください。

上記リセット手順を行っても通信できない場合は以下の内容を確認した上でマーブルまでご連絡ください。

●ルーター（無線ＬＡＮ）の取扱説明書に記載してある接続できない場合の対処方法

ルーター（無線ＬＡＮ）によっては取扱説明書がＣＤで提供されているものがあります。

●ルーター（無線ＬＡＮ）のケーブルモデム側（ＷＡＮ側、インターネット側）のＩＰアドレス

ルーター（無線ＬＡＮ）のケーブルモデム側のＩＰアドレスはルーター（無線ＬＡＮ）付属のソフトを使うかＷｅｂブラウザで確認するのが一般的です。

●パソコン側のＩＰアドレス

ルーター（無線ＬＡＮ）とパソコンをＬＡＮケーブルで接続している場合はパソコンのローカルエリア接続側をご確認下さい。無線で接続している場合はワイヤレスネットワーク（アダプタ）側のＩＰアドレスをご確認ください。

４－２．インターネットはできるがメールができない

以下のことをご確認の上、サポートまでご連絡ください。

●メールの受信ができないのか、送信ができないのか、両方できないのか。

送信時のエラーのみの場合は以下の事を確認してください。
- **メールに添付ファイルがついているかどうか。**
- **今までメールをやりとりしたことがある人かどうか。**
- **メールが送れない時、どこからか英語のメールが届いていないか？**

注　マーブルのメールアドレスはマーブルのケーブルモデムに繋がっているパソコンからのみメール送信ができます。他社プロバイダ経由でのメール送信はできません。

●お使いのメールソフト名

例；Outlook Express**「アウトルックエクスプレス」、**
Office Outlook**「オフィス　アウトルック」**
Office Outlook **は発売年度によって** 2000，XP(2002)，2003，2007 **が後に付きます。**
Windows **メール(**WindowsVista**)　他**

●セキュリティソフト（ウィルス対策ソフト）がＰＣに入っているか。
入っていればそのセキュリティソフト（ウィルス対策ソフト）の名称と年度。

例；ウィルスバスター
ノートン（アンチウィルス・インターネットセキュリティ・３６０）
ソースネクストウィルスセキュリティ（ゼロ）
カスペルスキー

●メールができなかった際のエラーメッセージ
(Outlook Express **の場合「**0x800ccc・・**」で始まる記号で表示されるエラー番号が、**
原因の特定に関する重要な情報となります)
これをメモしてサポートにご連絡いただきますとより早い解決が得られます。

エラーで返ってくるメールの本文（英語）の最後にはエラーの原因が書かれています。
以下はその原因の一例です。

・User unknown　**あるいは**　Unknown user
送信先のメールアドレスが存在しない(相手が解約した、アドレスを変更した)
対応方法：送信相手にアドレスを変更あるいは解約していないかを確認してください。
・Disc quota exceeded
送信先のメールボックスが満杯になった(受信する余地が無くなっている)
対処方法：一度送信先にメールの受信をして貰った後で再度メールを送信してください。

４－３．メールはできるがインターネットができない

以下の事を確認した上で弊社サポートまでご連絡ください。

- **「サーバーが見つかりません」「ページが表示できません」等どのような表記になっているか**
- **Ｗｅｂブラウザのお気に入り（ブックマーク）などに登録してあるページも表示できないかどうか。**
- **できないのはＷｅｂの閲覧なのか、それともインターネットを利用したサービスなのか。**
- **会員制のサービスサイトに繋がらない事なのか。**
- **セキュリティソフト（ウィルス対策ソフト）は作動しているか。**

（全 3 冊　500 円）